

日本オリエント学会第 64 回年次大会 公開講演会開催趣意書

大会実行委員長

高橋 英海（東京大学大学院総合文化研究科）

コロナ禍も 3 年目が終わりに近づき、社会は少しずつ正常化に向かい始めています。そうした動きに合わせて、今大会は対面形式とオンライン形式を組み合わせたハイブリッド形式で開催することにいたしました。公開講演会につきましても、会場にお越しいただければ講演会の雰囲気を直接体感できますし、また、会場に来られない方はオンラインで視聴することもできます。今大会では、先史・古代からイスラーム以後にいたる広い時代をカバーしているという日本オリエント学会会員の多様性を活かし、「地中海・西アジアの大帝国——古代から近世まで——」と題する公開講演会を開催することにいたしました。以下は、その講演会の趣意書になります。

地中海から西アジアにかけての地域では、古代よりいくつもの強大な帝国が出現しました。それらの帝国は、周囲の諸国や諸民族を征服して併合し、広大な領域を支配下におさめて覇権を築きました。言語、宗教、文化の異なる多様な集団を内部に抱えながらも、支配を長期にわたって実現し、他国を圧倒できた要因は何だったのでしょうか。他方、そうした帝国の支配は、内外からさまざまな挑戦を受け、その圧倒的優位性はいずれ崩れていきました。では、帝国の覇権はどのように移り変わり、その遺産はどのように継承されたのでしょうか。この公開講演会では、古代から近世にかけて地中海・西アジア地域で覇権を握った大帝国について、長期的なスパンから考察し、その支配の特質や覇権の変遷について考えていきたいと思っております。

講演者として、近年ご著書を刊行してますます活躍されている歴史研究者の方々に登壇いただく予定です。対面、オンラインのいずれにしましても、多くの方々の参加をお待ち申し上げます。